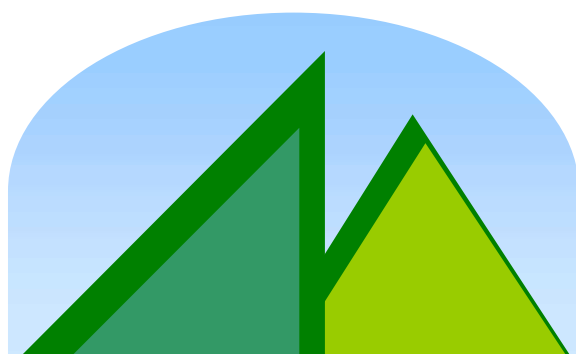


# 第 26 回 臨床薬理阿蘇九重カンファレンス プログラム

テーマ1 IRBの現状と課題

テーマ2 薬物動態学の新展開



臨床薬理阿蘇九重カンファレンス

日時: 2007年7月21日(土)13:00 から  
7月22日(日)12:30 まで

会場: レイクサイドホテル久山 別館会議場(クリスタル)  
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1822  
TEL : 092-976-1800  
FAX : 092-976-1840  
<http://www.lakesidehotel.co.jp>

\*\*\*\*\* 世話人 \*\*\*\*\*

九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学	笹栗 俊之(本年度主催)
大分大学 医学部 臨床薬理学	大橋 京一
愛媛大学大学院 医学系研究科 病態治療内科	野元 正弘
九州大学大学院 薬学研究院 薬物動態学	樋口 駿

## ごあいさつ

『臨床薬理阿蘇九重カンファレンス』は、薬物治療学の発展を目的として、20年近く前から阿蘇九重周辺で開催されてきました。近年は名称と開催地が一致しないこともありますが、伝統ある名称としてそのまま残すことになっております。今回は、福岡県久山町で開催することになりました。

今回の主なテーマは「IRBの現状と課題」および「薬物動態学の新展開」の二つです。臨床薬理の倫理的側面として前者、科学的側面として後者を取り上げました。IRBは研究倫理を支える大きな柱ですが、現在のIRBには問題点がまだ数多く残されています。委員の教育研修システムや登録制の検討など、重要な課題を考える機会にしたいと思います。また、薬物動態学の最先端を専門外の人にもわかりやすく紹介していただき、日常医療にどう生かすべきか考えたいと思います。その他、例年どおり一般演題口演や症例検討会などを計画しております。

久山町は、住民を対象とした疫学研究で世界に名を知られる臨床研究のメッカですが、福岡市近郊にありながら里山の趣を色濃く残した静かな田園の町です。温泉も湧き、疲れた体を休めるのにも最適の場所だと思います。多くの皆様方のお越しをお待ちしております。

第26回 臨床薬理阿蘇九重カンファレンス  
当番世話人 笹栗 俊之

第1日目 7月21日(土) 13:00 ~ 16:50

11:30 ~ 受付開始

---

12:55 ~ 開会の挨拶

笹栗 俊之 (九州大院・医・臨床薬理学)

---

13:00 ~ 15:00 パネルディスカッション

**IRBの現状と課題**

座長 : 大橋 京一 (大分大・医・臨床薬理学)

笹栗 俊之 (九州大院・医・臨床薬理学)

演題(1) 13:00 ~ 13:20 (20分)

福岡県内IRBの実態調査の結果から

笹栗 俊之 (九州大院・医・臨床薬理学)

演題(2) 13:20 ~ 13:30 (10分)

臨床第 相試験実施機関IRBの実態調査の結果から

飯島 肇 (臨床試験受託事業協会)

演題(3) 13:30 ~ 13:40 (10分)

日本SMO協会IRBの実態調査の結果から

松島 学 (日本SMO協会治験実務検討委員会)

演題(4) 13:40 ~ 14:00 (20分)

自主研究倫理審査の現状と問題点

野元 正弘 (愛媛大院・医・臨床薬理学(病態治療内科))

演題(5) 14:00 ~ 14:20 (20分)

IRBワークショップの経験から

稲野 彰洋 (大分大・医・創薬育薬医学)

演題(6) 14:20 ~ 14:40 (20分)

IRBメンバー教育の展望

大橋 京一 (大分大・医・臨床薬理学)

総合討論 14:40 ~ 15:00 (20分)

---

15:00 ~ 15:20 休憩

---

---

15:20 ~ 16:50 パネルディスカッション

---

## 薬物動態学の新展開

座長：樋口 駿 (九州大院・薬・薬物動態学)  
山田 勝士 (鹿児島大・医歯病・薬剤部)

演題(1) 15:20 ~ 15:50 (講演 25分 質疑応答 5分)

ABCトランスポーターによるベクトル輸送と医薬品体内動態  
楠原 洋之 先生 (東京大院・薬・分子薬物動態学)

演題(2) 15:50 ~ 16:20 (講演 25分 質疑応答 5分)

コンピュータシミュレーションによる薬物動態の個体差の予測  
加藤 基浩 先生 (中外製薬・前臨床研究部)

演題(3) 16:20 ~ 16:50 (講演 25分 質疑応答 5分)

遺伝子発現調節機構を取り入れた個人差解明への試み  
miRNAを中心とした  
横井 毅 先生 (金沢大・薬・薬物代謝化学)

---

17:00 ~ 17:30 世話人会 特別和室 (413号室)

---

---

18:30 ~ 懇親会 鶯(うぐいす)の間にて

21:00 ~ 二次会 特別和室 (413号室) 持込可です。

---

第2日目 7月22日(日) 9:00 ~ 12:20

---

9:00 ~ 10:40 一般演題

---

座長：野元 正弘 (愛媛大院・医・病態治療内科)

演題(1) 9:00 ~ 9:25 (講演 20分 質疑応答 5分)

高齢者高血圧の降圧目標について  
JATOS 研究の結果から

原田 和博 (笠岡第一病院・内科)

演題(2) 9:25 ~ 9:50 (講演 20分 質疑応答 5分)

BCRP 遺伝子多型を考慮した 4-Methylumbelliferone sulfate の  
母集団薬物動態解析

佐々木 智啓<sup>\*</sup>、家入 一郎<sup>\*</sup>、小林 大介<sup>\*</sup>、廣田 豪<sup>\*</sup>、木村 美  
由紀<sup>\*\*</sup>、入江 伸<sup>\*\*</sup>、樋口 駿<sup>\*</sup> (\*九州大院・薬・薬物動態学、  
<sup>\*\*</sup>九州臨床薬理クリニック)

演題(3) 9:50 ~ 10:15 (講演 20分 質疑応答 5分)

薬物代謝酵素とトランスポーター遺伝子多型診断を組み合わせた  
スルファサラジン体内動態解析

山崎 有美子<sup>\*</sup>、家入 一郎<sup>\*</sup>、佐々木 智啓<sup>\*</sup>、木村 美由紀<sup>\*\*</sup>、  
田淵 裕子<sup>\*</sup>、廣田 豪<sup>\*</sup>、安東 幸恵<sup>\*</sup>、入江 伸<sup>\*\*</sup>、樋口 駿<sup>\*</sup>  
(\*九州大院・薬・薬物動態学、<sup>\*\*</sup>九州臨床薬理クリニック)

演題(4) 10:15 ~ 10:40 (講演 20分 質疑応答 5分)

遺伝子多型が関連したポリコナゾールによる肝障害

深水 知英、松元 一明、精松 和子、西田 健太郎、福永 直  
子、大磯 茂、下堂 蘭 権洋、山口 辰哉、武田 泰生、山田  
勝士 (鹿児島大・医歯病・薬剤部)

---

10:40 ~ 11:00 休憩

---

---

11:00 ~ 12:20 症例検討

---

座長：大石 了三（九州大学病院・薬剤部）  
長谷川 純一（鳥取大・医・薬物治療学）

演題(1) 11:00 ~ 11:20（講演 10分 質疑応答 10分）

SLE 治療経過中に Stevens-Johnson 症候群を発症し治療に難渋した症例

白水 景子\*、小川 栄一\*\*、三嶋 一登\*、村田 昌之\*\*、林 純\*\*、大石 了三\*（九州大学病院・\*薬剤部、\*\*総合診療部）

演題(2) 11:20 ~ 11:40（講演 10分 質疑応答 10分）

サプリメントとワルファリンとの相互作用の一例

長谷川 純一（鳥取大・医・薬物治療学）

演題(3) 11:40 ~ 12:00（講演 10分 質疑応答 10分）

短腸症候群（残存小腸 90cm）のために薬物の消化管吸収が問題となったうつ病患者の一例

小手川 勤（大分大・医・臨床薬理学）

演題(4) 12:00 ~ 12:20（講演 10分 質疑応答 10分）

薬物誘発性歩行障害の一例

永井 将弘、野元 正弘（愛媛大院・医・病態治療内科学）

---

12:20 ~ 次回会長挨拶

---

大橋 京一（大分大・医・臨床薬理学）

---

12:30 ~ 閉会の挨拶

---

笹栗 俊之（九州大院・医・臨床薬理学）